

令和元年度 基本運営方針

特別養護老人ホームおくらの里の増床事業稼働からスタートした昨年度の流れを受けて、事業の円滑かつ安定した運営が図れることを目標に、引き続き施設体制の整備・構築に努めていきます。

平成31年度は平成から新しい元号に移り行く年でもあり、消費税増税や働き方改革をめぐる社会の動向であったり、介護基盤の維持に向けた介護報酬の見直しと介護人材の処遇改善が図られたりして、変化のある一年が続いていきます。

この新たな時代の到来にあたり、法人としてもこれまでの良いところは継続して活かし、時とともに見直しが必要なものについては、積極的に前向きな改善を行っていくことが必要と考えております。また、新居浜市の児童養護施設の経営移譲の担い手となるように、準備・対応を進めて参ります。

労働市場の縮小化という厳しい環境において、法人が事業を継続しより良い介護サービスを提供する為には、介護人材の確保と育成が欠かせません。外国人技能実習制度の活用や学生及び未経験者を含む潜在的な介護人材の発掘にも着目しつつ、介護の質の向上や地域・医療との連携、社会福祉法人としての諸課題と向き合い事業を推進していきます。

【基本理念】

常に美しい心

【行動指針】

- 一、 人権の尊重
- 一、 サービスの質の向上
- 一、 地域社会との関係の継続
- 一、 生活・ケア環境の向上
- 一、 地域福祉の推進
- 一、 公益的取り組みの推進

<重点目標>

1. 介護サービスの質の向上に向けた取り組み

(1) 利用者主体のサービス提供

- ① 利用者の生活と尊厳を守る為、事故発生防止、身体拘束や虐待、ハラスメントに関する研修を継続し、職員の意識の保持と啓発に努めます。
- ③ サービスの向上を図る為、事業活動に係る自己評価の定期的な実施と第三者評価や外部評価の活用も検討していきます。

(2) 情報開示と広報活動の推進

- ① 要望や苦情は施設や法人全体の問題として真摯に受け止め、施設が提供するサービスの方針と合わせて広く情報を開示し、透明性の確保と質の改善につなげていきます。
- ② 法人の持つ広報資源（ホームページや広報誌）により、継続して事業活動状況や施設の様子を発信し、対外的な理解の促進と安定した利用者の獲得に努めます。

2. 介護人材の確保と育成への取り組み

(1) 人材の確保

- ① 介護人材につながるよう介護実習の受入れの機会を大切にし、施設内外の媒体を通じ、新規学卒者や中途採用者の確保に努めていきます。また、外国人技能実習制度の活用を視野に検討していきます。
- ② 働き方改革の流れに沿い、働きやすい職場環境の整備と福利厚生の実施、資格取得支援、計画的研修の実施を継続して行っていきます。また、育児や介護が必要となった場合も働き続けられるよう、諸制度により支援します。

(2) 人材の育成

- ① 安心感とやりがいを持って働き続けることができるように、個人の置かれている環境に適した個性を活かせる中長期的な教育・指導体制を作っていきます。
- ② 職員主体で具体的な提案や工夫が考えられるように、職場会や委員会活動の参加を促進していきます。さらに、育成の一環として経験年数に応じた適切な業務上の役割分担を図っていきます。

3. 社会福祉法人として求められる取り組み

(1) 地域における公益的活動と相互理解

- ① 校区の夏祭りや施設の盆踊り大会の地域交流の他、角野校区連合自治会や角野校区防災会との交流を図り、地域と法人の相互理解に努めます。
- ② すみの見守り SOS ネットワーク協議会の事務局を窓口として、地域とのつながりを深め、まちづくりに参加していきます。

(2) 防災対策と防犯対策

- ① 防災計画に基づく各種訓練を確実に実施し、非常災害や防犯上のリスクなど福祉施設として必要な対策を講じていきます。
- ② 想定される非常事態に備え、事業継続計画の策定や諸協定による地域や他施設、関係機関との連携を推進していきます。